

# 和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2009年第8号(週報)

2009年第8週(2月16日~2月22日)

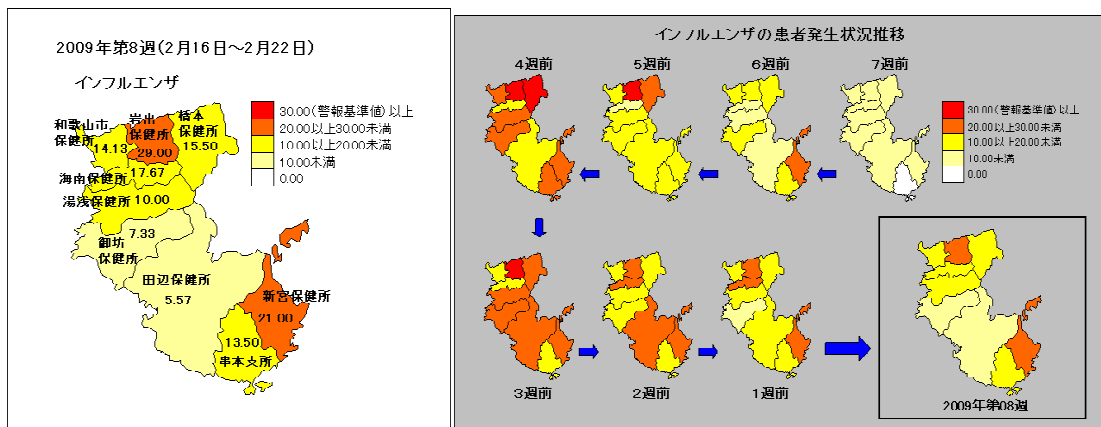
## ◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

### — インフルエンザ : 減少率小さく、流行長引く —

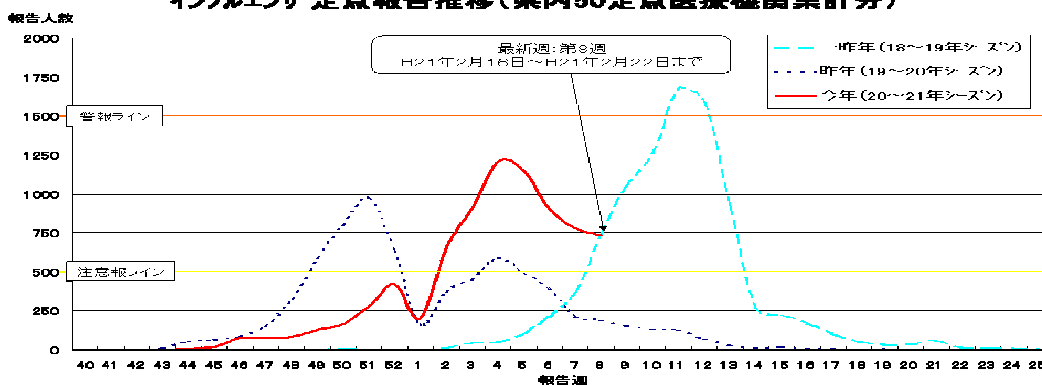
現在、全国各地で流行を見せている。和歌山県では第4週(1/19~1/25)に定点医療機関当たりの患者報告数が24.16人とピークに達し、その後の報告数については減少傾向にあるものの、減少幅は小さく、第8週の定点医療機関当たり報告数は14.66人と注意報基準値(10.00人)を超えている。また、学級閉鎖等も依然として報告されており、まだまだ安心できない状況にある。ピークから4週間における報告数の減少率「(ピーク時の報告数-ピークから4週後の報告数) / ピーク時の報告数×100」が39.3%と、過去5年(2004年~2008年) [平均78.8%] と比較するとかなり小さく、流行が長引いている。

地域別の定点医療機関当たり報告数は、岩出保健所管内(29.00人)、新宮保健所管内(21.00人)、海南保健所管内(17.67人)の順が多い。現在岩出及び橋本保健所管内に警報、その他、御坊及び田辺保健所管内以外の地域に注意報が発令されている。御坊保健所は第6週(2/2~2/8)の報告、田辺保健所管内は本報告において注意報が解除された。なお、インフルエンザの警報については定点医療機関当たりの報告数が30.0人(解除は10.0人未満)、注意報については10.0人に達した時に発令される。

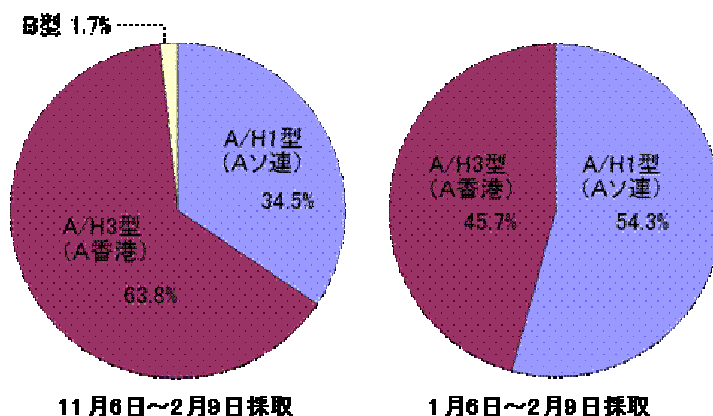
国立感染症研究所が発行するIDWR(2009年第6週)によると、前年第36週(9/1~9/7)から今年第6週(2/2~2/8)にかけて国内で分離されたインフルエンザウイルス(45都道府県、2,206件)の内訳は、AH1亜型[Aソ連](53.6%)、AH3亜型[A香港](34.1%)、B型(12.2%)となっており、AH1亜型[Aソ連]の割合が最も多い。第2週(1/5~1/11)までの累計ではAH3亜型[A香港]が多かったが、前年49週(12/1~12/7)以降からAH1亜型[Aソ連]の方が多く報告されるようになり、第3週(1/12~1/18)以降の累積数ではAH1亜型[Aソ連]が最も多くなっている。なお、県環境衛生研究センターで分離した和歌山県内(ただし、和歌山市は除く)におけるインフルエンザウイルス(58件)の内訳については、AH1亜型[Aソ連](20件、34.5%)、AH3亜型[A香港](37件、63.8%)、B型(1件、1.7%)と、前年11/6から2/9までの累積数はAH3亜型[A香港]が最も多いが、1月以降についてはやはりAH1亜型[Aソ連]が増加してきている(「県内のインフルエンザウイルス型別割合(県内)」参照)。



### インフルエンザ定点報告推移(県内50定点医療機関集計分)



### インフルエンザウイルス型別割合(県内)

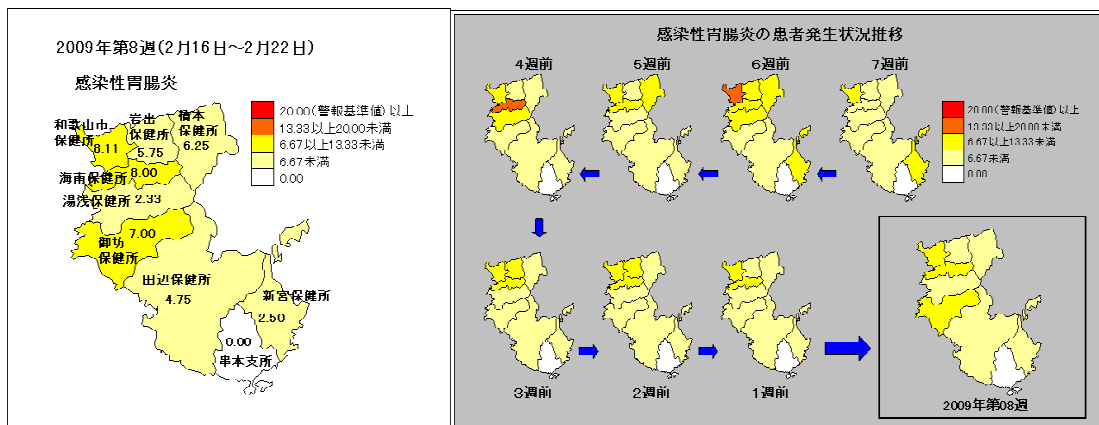


### 一 感染性胃腸炎 : 過去5年の同時期と比較して少ない 一

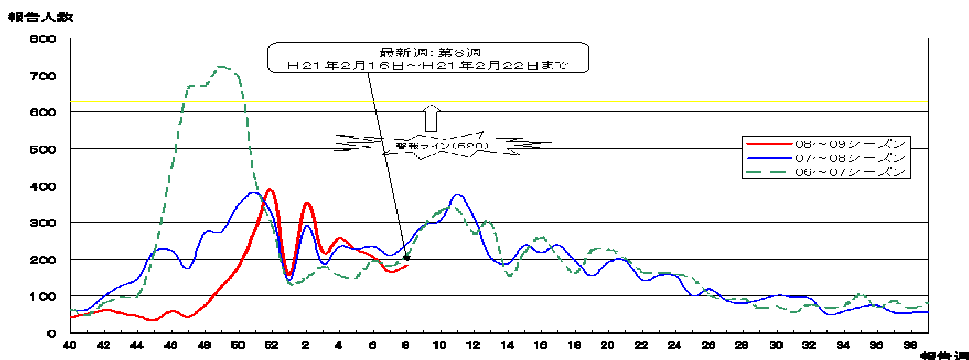
感染性胃腸炎の患者報告は例年12月後半にピークがある。その後、やや多い状態が夏に入るまでだらだらと続くが、3月頃に少し増加する傾向がある。今シーズンの患者報告のピークはやや遅かったが、この先については例年と同様の推移を示すことが予想され、注意はしばらく必要である。なお、感染性胃腸炎の原因としては、冬はノロウイルス等の小型球形ウイルス、春になるとロタウイルスが中心になると考えられる。

県内の患者報告数については、前年第52週(12/22~12/28)から第2週(1/5~1/11)のピーク(11.58人~12.42人)を境に減少傾向にある。第8週の定点医療機関当たり報告数については5.87人であった。これは、過去5年(2004年~2008年)の同時期と比較して少ないと言える。

第8週の地域別の定点医療機関当たり報告数については、和歌山市保健所管内(8.11人)、海南保健所管内(8.00人)、御坊保健所管内(7.00人)の順で多い。他の地域については0人~6.25人であった。



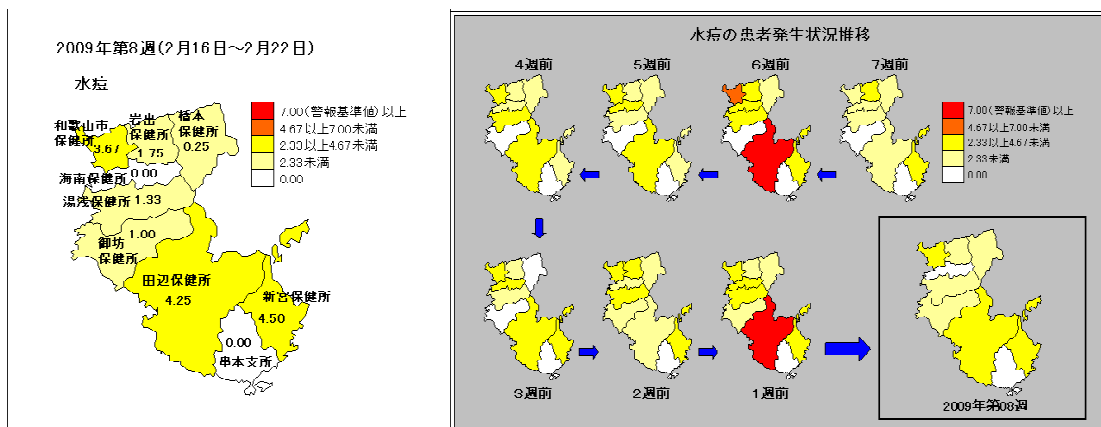
感染性胃腸炎推移(県内31定点医療機関集計分)



一 水痘 : 田辺保健所管内に警報、新宮保健所管内に注意報発令中！ 一

県内の定点医療機関当たり患者報告数は2.35人と、過去5年の同時期と比較して特に多くないが、地域別では田辺保健所管内に警報、新宮保健所管内に注意報が発令されている。水痘の警報については定点医療機関当たりの報告数が7.0人（解除は4.0人未満）、注意報については4.0人に達した時に発令される。

地域別の定点医療機関当たり報告数については、新宮保健所管内（4.50人）、田辺保健所管内（4.25人）、和歌山市保健所管内（3.67人）の順が多い。最も報告の多い新宮保健所管内については4週連続で増加した。田辺保健所管内については、前週（第7週：2/9~2/15）に定点医療機関当たり報告数が7.00人まで増加したが、第8週は減少した。田辺保健所管内では直近の第2週から第3週（1/5~1/18）にも警報が発令され、県内では比較的多い状態で推移している。



◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況> ※当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 3名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：報告はありませんでした。

## ◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

### <警報注意報発令状況>

#### 警報発令

インフルエンザ（岩出保健所管内、橋本保健所管内）  
水痘（田辺保健所管内）

#### 注意報発令

インフルエンザ  
（和歌山市保健所管内、海南保健所管内、湯浅保健所管内、新宮保健所管内、串本支所管内）  
水痘（新宮保健所管内）

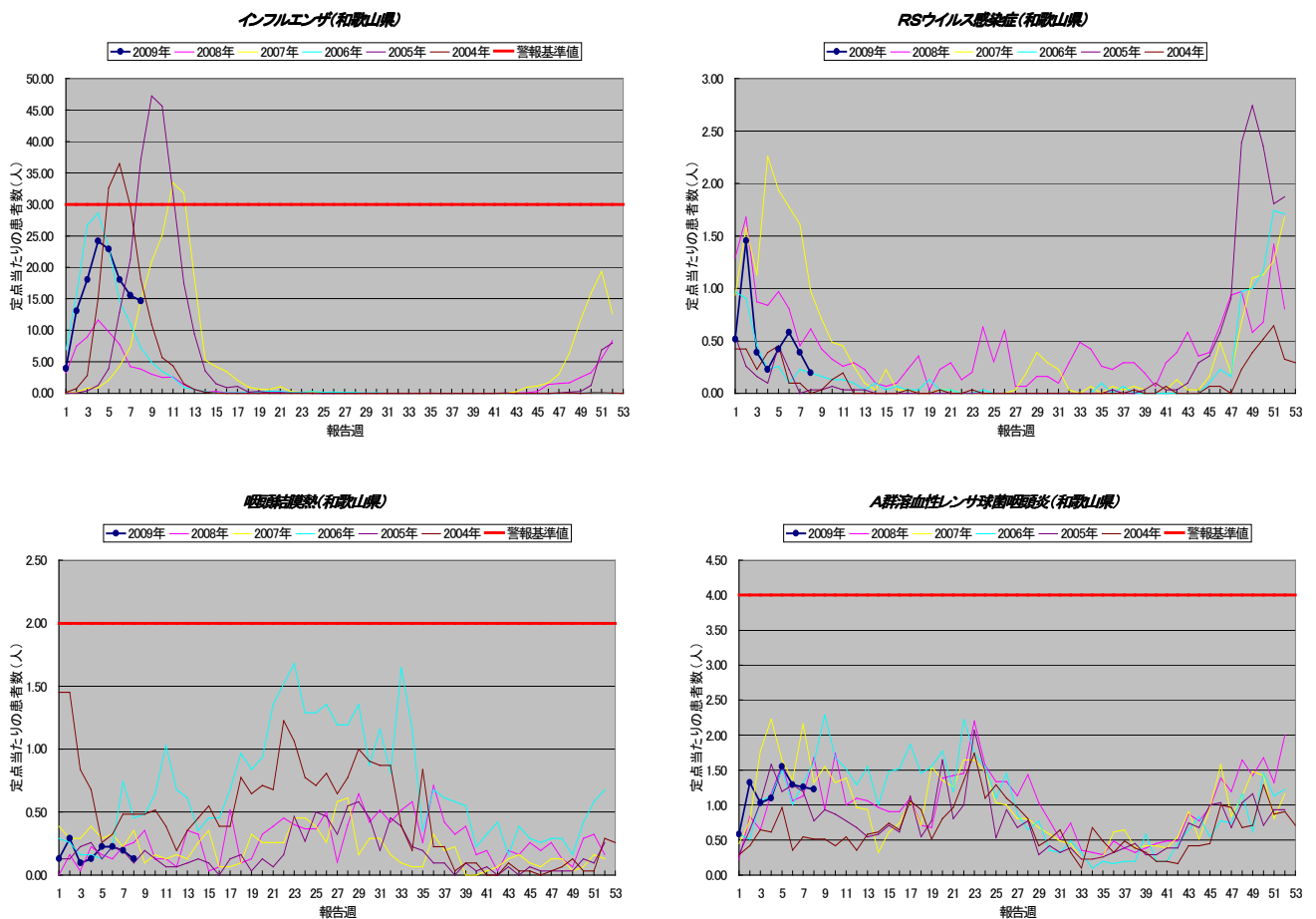
### <患者数上位5位>

※（ ）内の数値は定点医療機関当たりの患者数

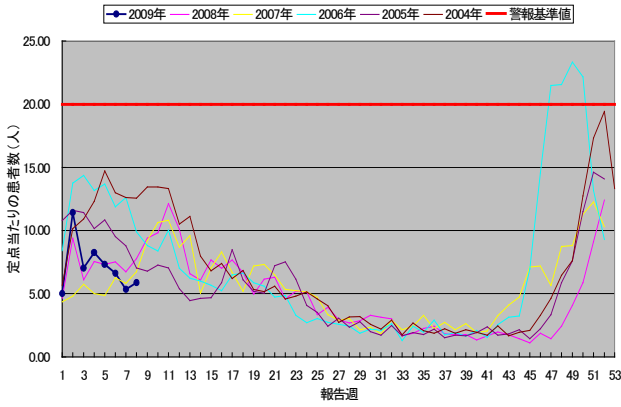
- 1位 インフルエンザ(14.66)
- 2位 感染性胃腸炎(5.87)
- 3位 水痘(2.35)
- 4位 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1.23)
- 5位 突発性発疹(0.61)

### <週報定点グラフ総覧>

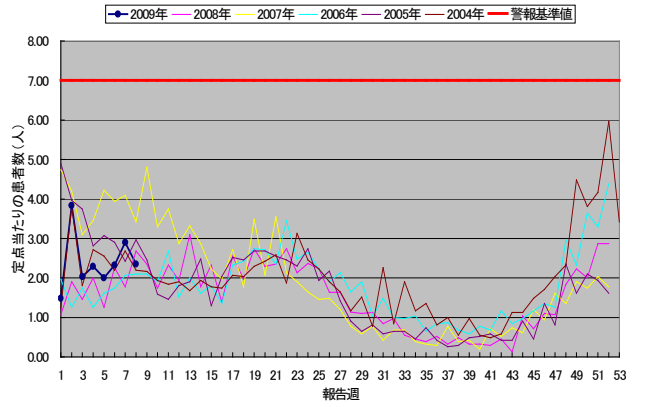
#### 1. 患者数の推移（過去5年の推移と比較）



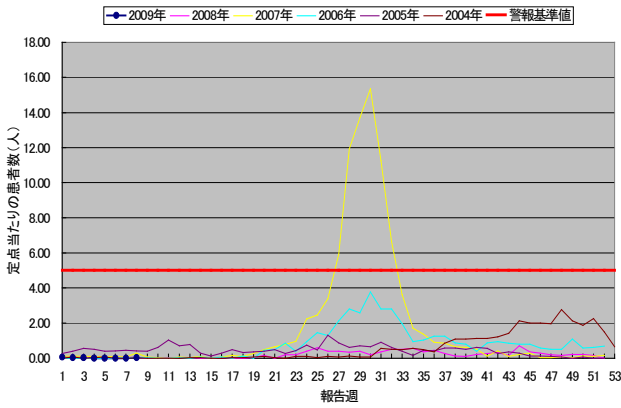
感染性胃腸炎(和歌山県)



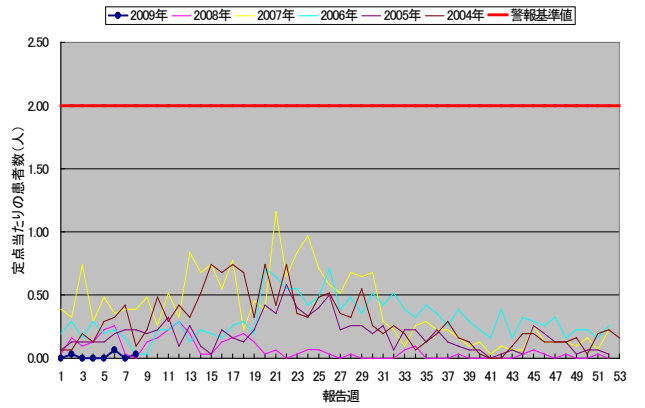
水痘(和歌山県)



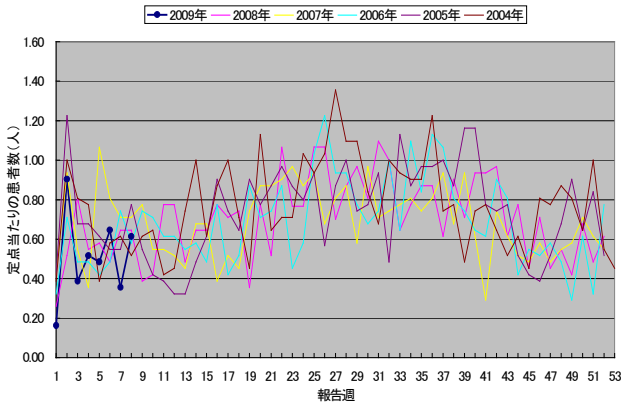
手足口病(和歌山県)



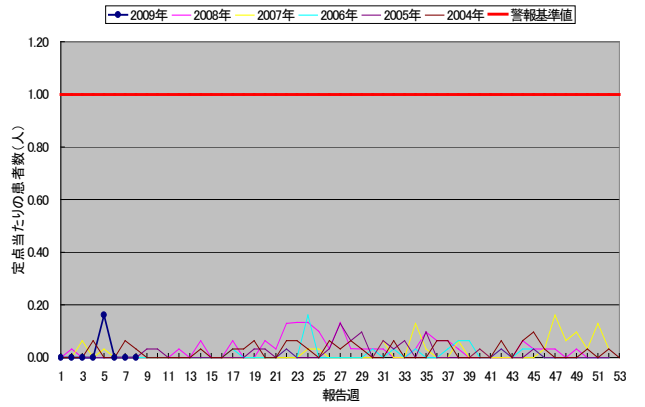
伝染性紅斑(和歌山県)



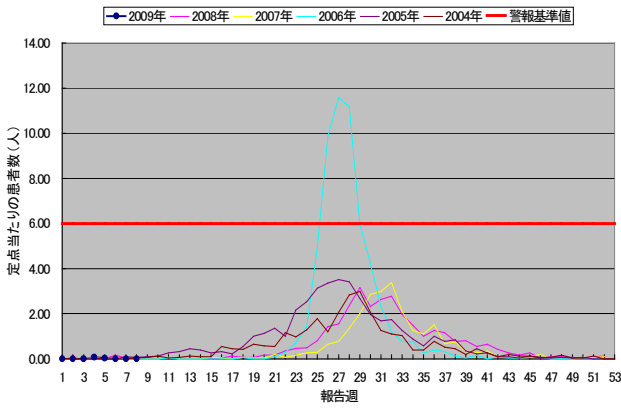
突発性発疹(和歌山県)



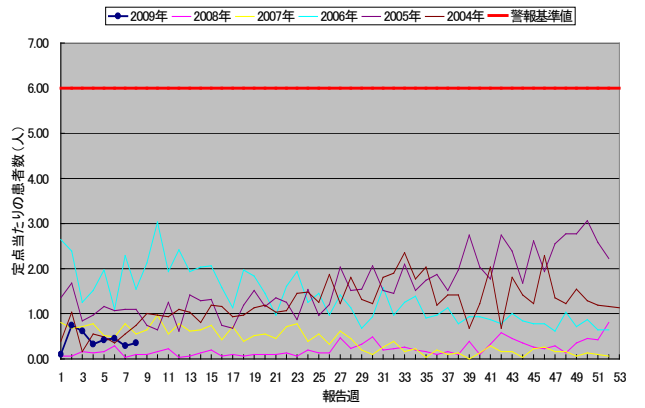
百日咳(和歌山県)



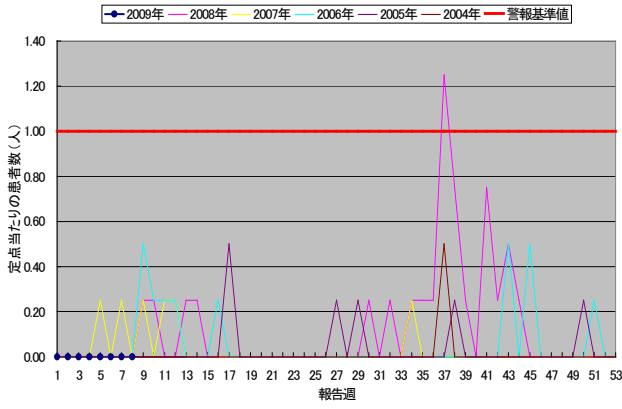
ヘルペス性口炎(和歌山県)



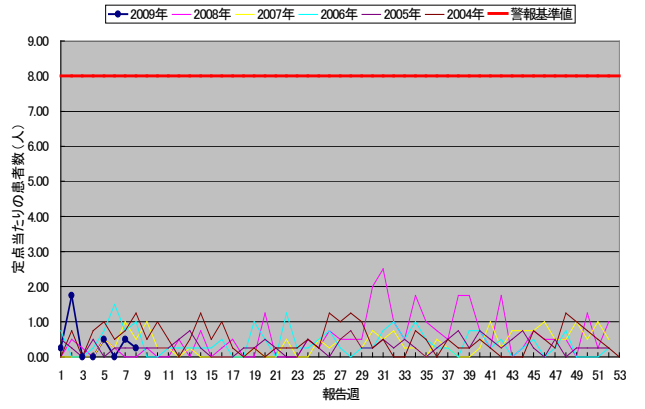
流行性耳下腺炎(和歌山県)



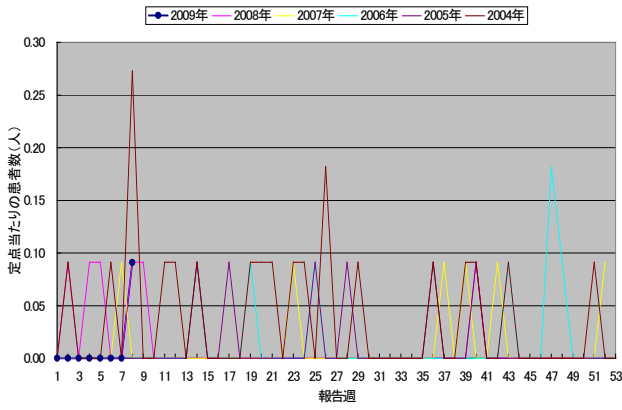
急性出血性結膜炎(和歌山県)



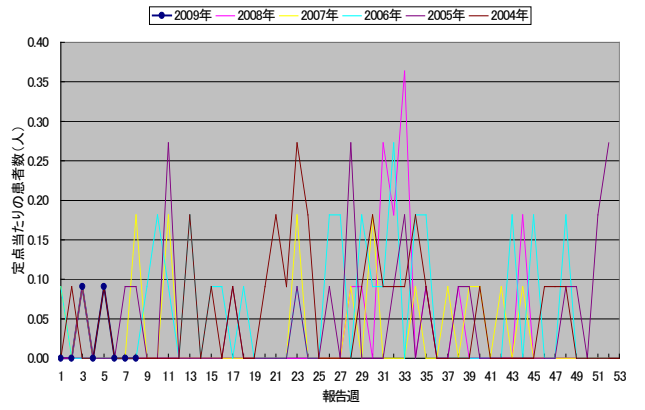
流行性角結膜炎(和歌山県)



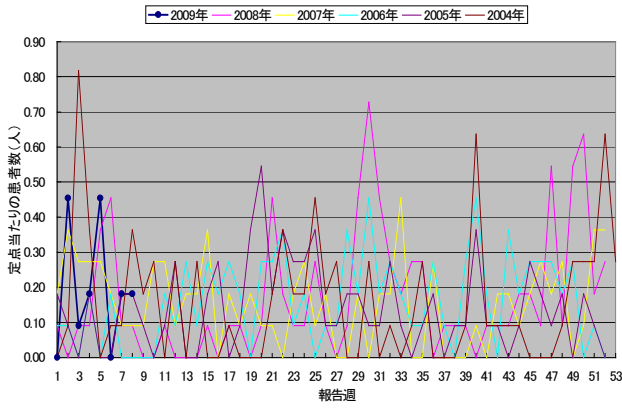
細菌性結膜炎(和歌山県)



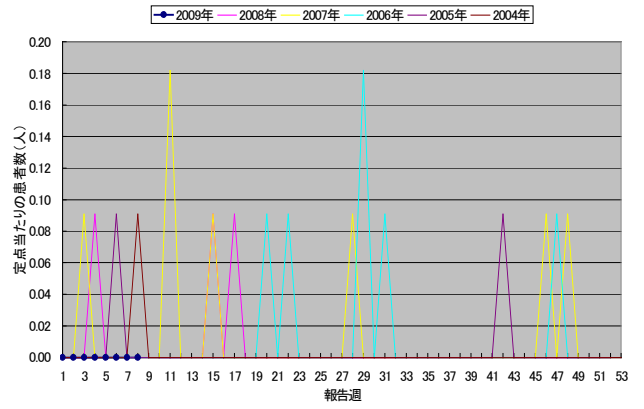
無菌性結膜炎(和歌山県)



マイコプラズマ肺炎(和歌山県)

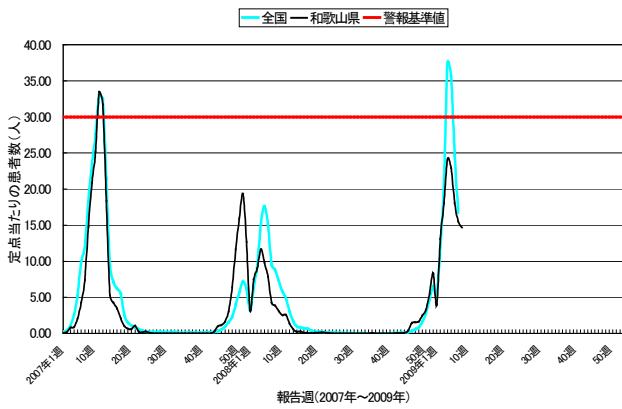


クラミジア肺炎(和歌山県)

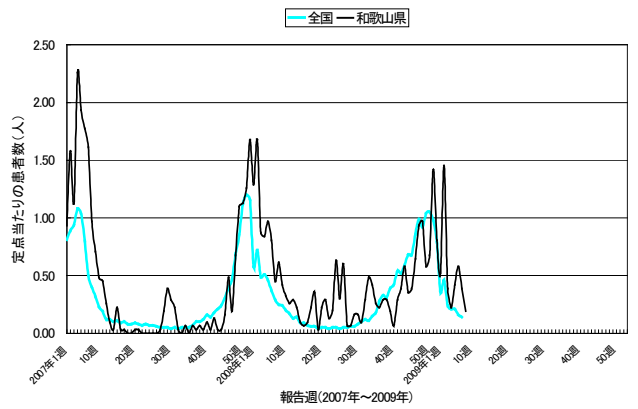


## 2. 患者数の推移 (全国と比較)

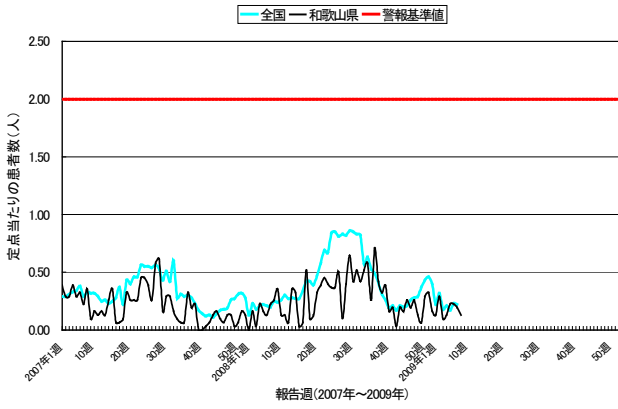
インフルエンザ



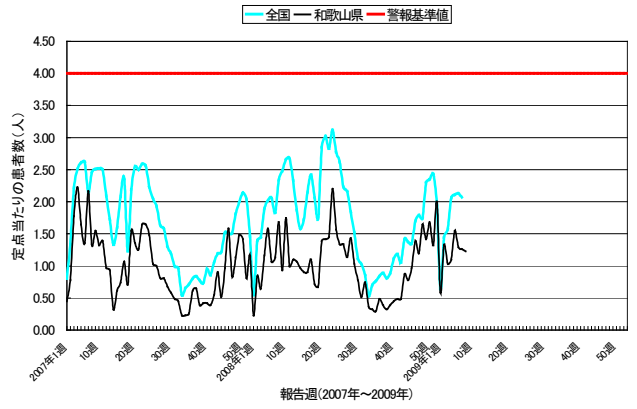
RSウイルス感染症



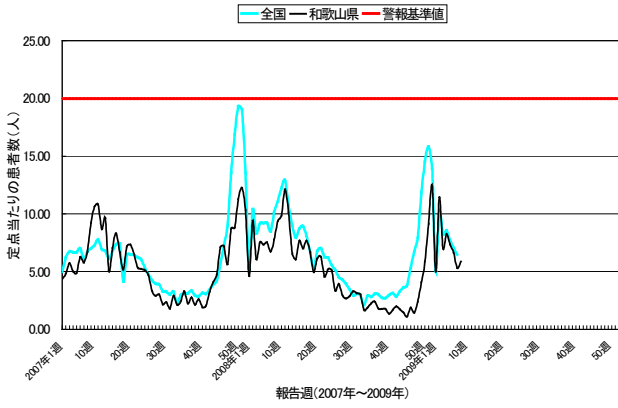
### 伝染性髄膜炎



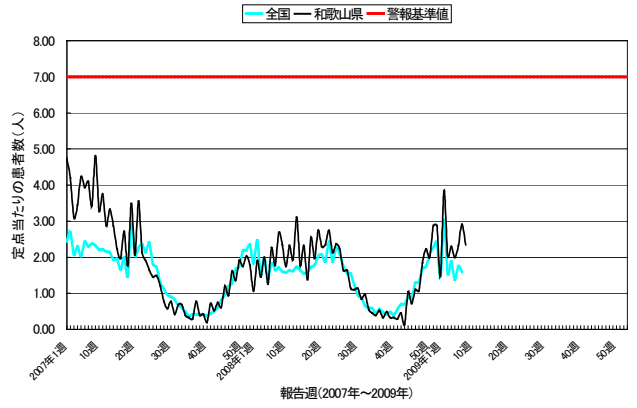
### A群溶血性レンガ球菌咽頭炎



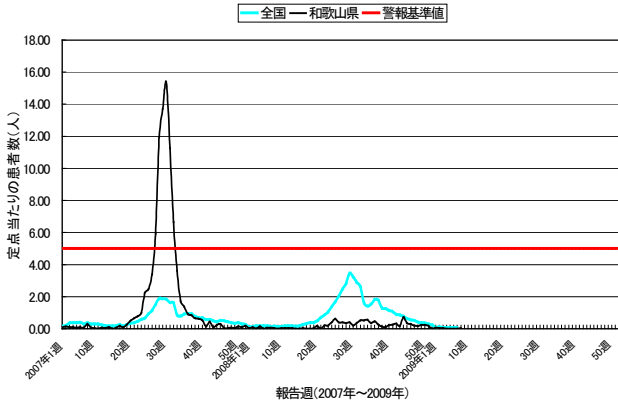
### 感染性胃腸炎



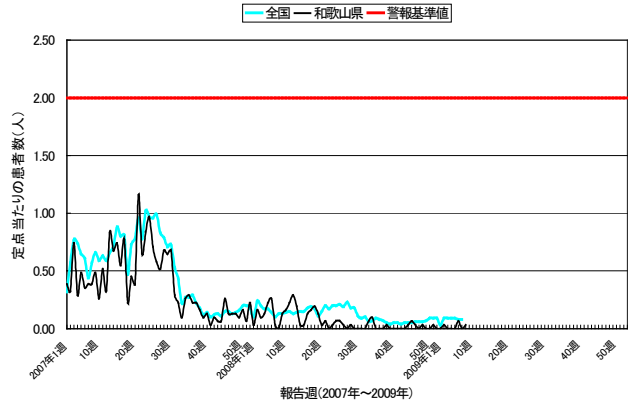
### 水痘



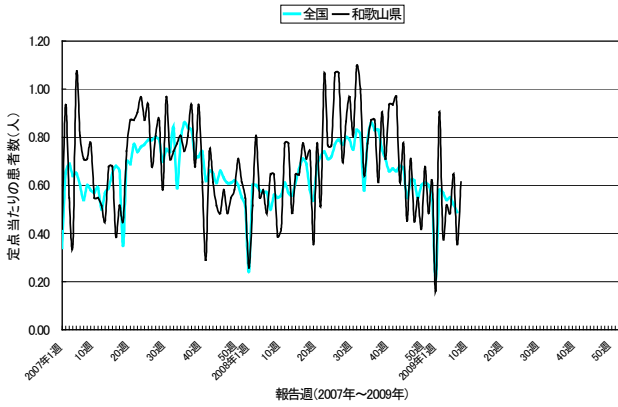
### 手足口病



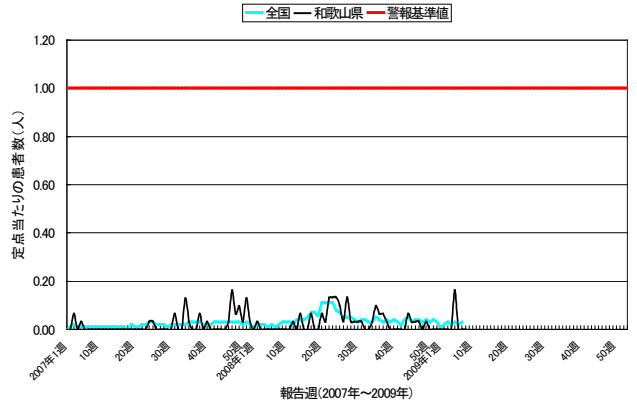
### 伝染性紅斑



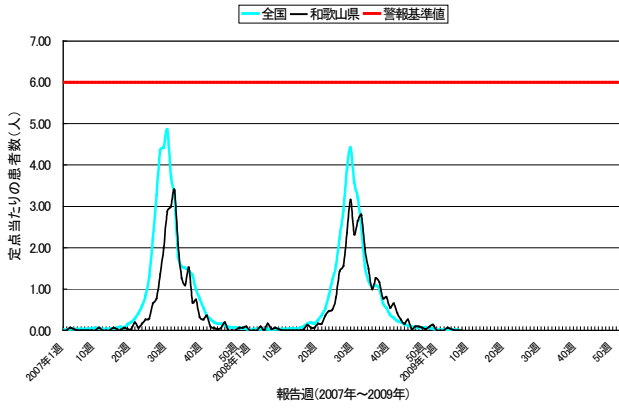
### 突発性発疹



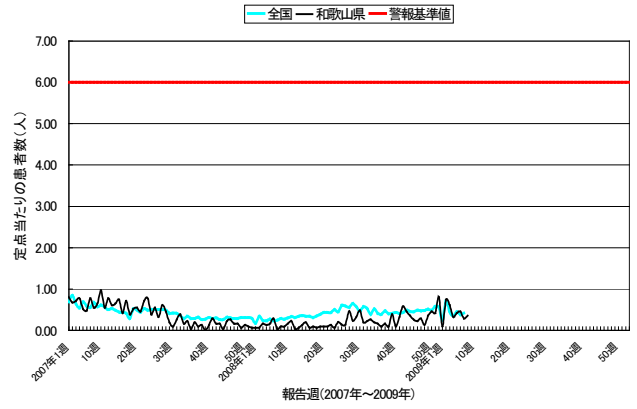
### 百日咳



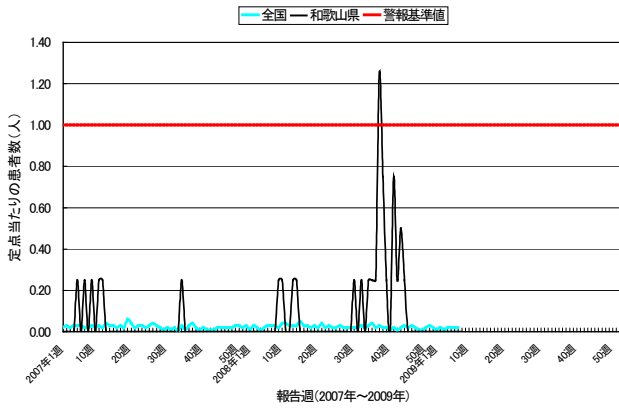
### ヘルペギナ



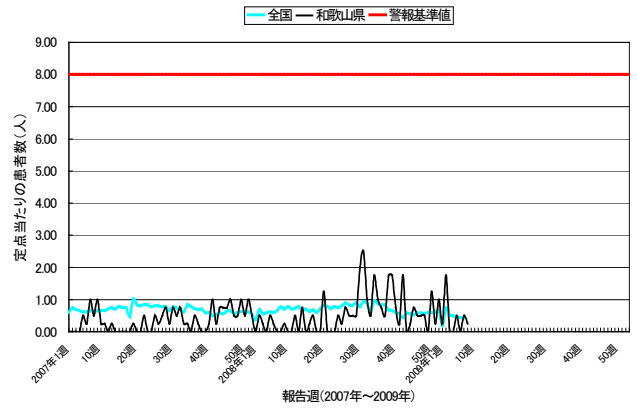
### 流行性耳下腺炎



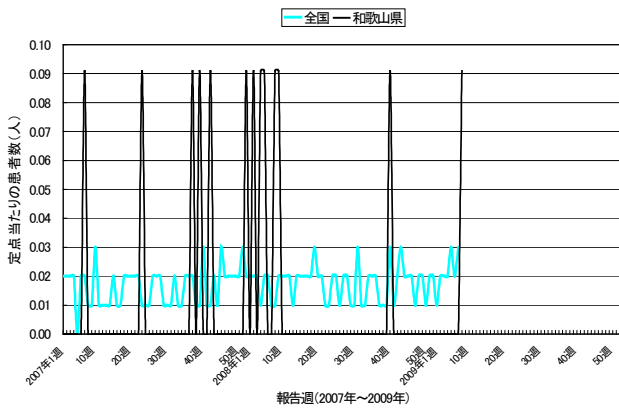
### 急性出血性結膜炎



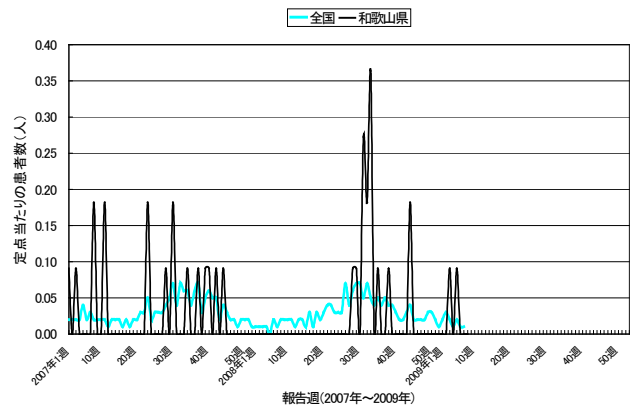
### 流行性角結膜炎



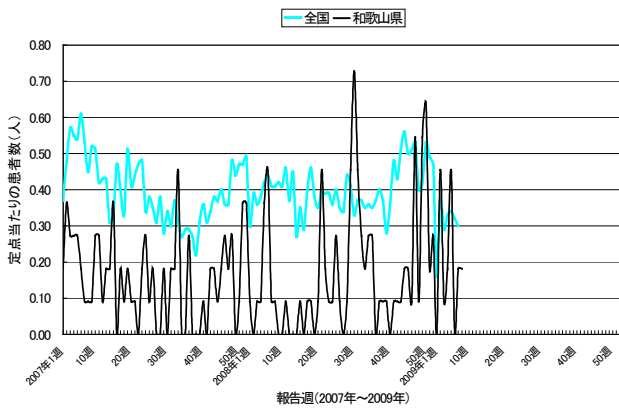
### 細菌性結膜炎



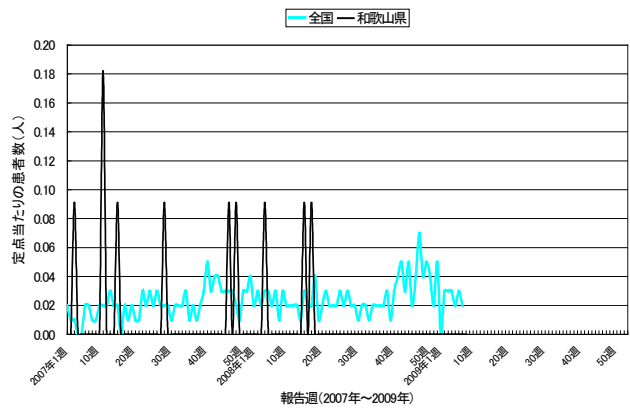
### 無菌性結膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### ケラチ肺炎







< 定点把握感染症（週報） >

10週分（2008年51週～2009年08週）の患者報告数（和歌山県） ※○印は警報、△印は注意報

疾病名	2008年51週	2008年52週	2009年01週	2009年02週	2009年03週	2009年04週	2009年05週	2009年06週	2009年07週	2009年08週
インフルエンザ	278	417	196	△654	△903	△1208	△1146	△903	△777	△733
RSウイルス感染症	44	25	16	45	12	7	13	18	12	6
咽頭結膜熱	10	5	4	9	3	4	7	7	6	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	62	18	41	32	34	48	40	39	38
感染性胃腸炎	283	385	155	354	218	256	227	205	165	182
水痘	89	89	46	119	63	71	62	72	90	73
手足口病	5	0	2	1	1	0	0	0	0	1
伝染性紅斑	1	0	0	1	0	0	0	2	0	1
突発性発疹	15	19	5	28	12	16	15	20	11	19
百日咳	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
ヘルパンギーナ	3	4	0	0	0	2	1	0	0	0
流行性耳下腺炎	13	25	3	23	19	10	13	14	9	11
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	4	1	7	0	0	2	0	2	1
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	3	0	5	1	2	5	0	2	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10週分（2008年51週～2009年08週）の定点当たり患者報告数（和歌山県） ※○印は警報△印は注意報

疾病名	2008年51週	2008年52週	2009年01週	2009年02週	2009年03週	2009年04週	2009年05週	2009年06週	2009年07週	2009年08週
インフルエンザ	5.56	8.34	3.92	△13.08	△18.06	△24.16	△22.92	△18.06	△15.54	△14.66
RSウイルス感染症	1.42	0.81	0.52	1.45	0.39	0.23	0.42	0.58	0.39	0.19
咽頭結膜熱	0.32	0.16	0.13	0.29	0.10	0.13	0.23	0.23	0.19	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.32	2.00	0.58	1.32	1.03	1.10	1.55	1.29	1.26	1.23
感染性胃腸炎	9.13	12.42	5.00	11.42	7.03	8.26	7.32	6.61	5.32	5.87
水痘	2.87	2.87	1.48	3.84	2.03	2.29	2.00	2.32	2.90	2.35
手足口病	0.16	0.00	0.06	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
伝染性紅斑	0.03	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.03
突発性発疹	0.48	0.61	0.16	0.90	0.39	0.52	0.48	0.65	0.35	0.61
百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	0.10	0.13	0.00	0.00	0.00	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.42	0.81	0.10	0.74	0.61	0.32	0.42	0.45	0.29	0.35
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.25	1.00	0.25	1.75	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.25
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.18	0.27	0.00	0.45	0.09	0.18	0.45	0.00	0.18	0.18
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2009年第8週 保健所別の患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、－は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)	
インフルエンザ	△733	△212	○174	○93	△53	△50		22	39	△63	△27
RSウイルス感染症	6	1	2	0	2	0	1	0	0	0	0
咽頭結膜熱	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	15	5	2	4	0	0	12	0	0	0
感染性胃腸炎	182	73	23	25	16	7	14	19	5	0	0
水痘	73	33	7	1	0	4	2	○17	△9	0	0
手足口病	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
突発性発疹	19	7	4	1	3	2	0	1	1	0	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	11	2	0	0	0	6	0	2	1	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	－	－	－	－	－	0	－	－	－
流行性角結膜炎	1	1	－	－	－	－	－	0	－	－	－
細菌性髄膜炎	1	0	0	1	－	0	0	0	0	0	－
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	－	0	0	0	0	0	－
マイコプラズマ肺炎	2	0	1	0	－	0	1	0	0	0	－
クラミジア肺炎	0	0	0	0	－	0	0	0	0	0	－

2009年第8週 保健所別の定点当たり患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、－は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	△14.66	△14.13	○29.00	○15.50	△17.67	△10.00	7.33	5.57	△21.00	△13.50
RSウイルス感染症	0.19	0.11	0.50	0.00	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	0.13	0.11	0.25	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.23	1.67	1.25	0.50	2.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	5.87	8.11	5.75	6.25	8.00	2.33	7.00	4.75	2.50	0.00
水痘	2.35	3.67	1.75	0.25	0.00	1.33	1.00	○4.25	△4.50	0.00
手足口病	0.03	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
突発性発疹	0.61	0.78	1.00	0.25	1.50	0.67	0.00	0.25	0.50	0.00
百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.35	0.22	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.50	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	－	－	－	－	－	0.00	－	－
流行性角結膜炎	0.25	0.33	－	－	－	－	－	0.00	－	－
細菌性髄膜炎	0.09	0.00	0.00	0.50	－	0.00	0.00	0.00	0.00	－
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00	0.00	－
マイコプラズマ肺炎	0.18	0.00	1.00	0.00	－	0.00	1.00	0.00	0.00	－
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00	0.00	－



## 和歌山県感染症情報（WIDR）2009年第8号

発行日：平成21年2月25日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail [e0318011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0318011@pref.wakayama.lg.jp)

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail [e0503001@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0503001@pref.wakayama.lg.jp)

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。